

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社U-MAP
<p>2 貴社の取組状況について</p> <p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 →働き方改革を進め、柔軟な労働環境を提供し、従業員のワークライフバランス向上を図るため。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 →元々子育て世代が多く、子育てやりフレッシュ休暇を取りやすい環境を整え、法改正に対応して男性の育児休業取得を奨励する基盤を整備しています。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 →取得前例がない中、「不安」な空気をコミュニケーションで解消し、法改正時には早い段階で取得したい意向を示し対応策を共有しました。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと →職場では仕事の分担や代行体制を整え、社内コミュニケーションツールで情報共有を確保し、業務の連続性を確保しました。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください →まだ定着していないが、管理職の取得を通じて長期休暇の管理体制を構築、復帰後も短時間勤務など柔軟な働き方を促進し、従業員のワークライフバランスを支えています。</p>	

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 66日間
<p>2 育児休業の取得について</p> <p>(1) 育児休業を取得したきっかけ →第一子誕生の際に2週間取得し子供との時間を豊かに過ごせた為、今回も第二子誕生を機に再度取得しました。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと →通常以上の時間を子供と過ごせ、親子の絆が深まりました。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 →所属長の立場で責任を明確化し、権限を一時的に委譲しました。相談先や判断を委ねる上長も明確にしました。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること →他メンバーのプライベートの忙しい時期や急な用事に傾聴し、それを考慮した業務計画を立てることができ、急な対応が少なくなりました。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス →家族との時間を大切にすることで人生が豊かになると思っています。取得を考える際は、早めに相談し、調整期間を設けて心配なく休業に入れるよう計画を立てることが重要と考えます。</p>	